



憲法パフェ

いよいよ改憲?

明日の自由を守る若手弁護士の会(あすわか)の弁護士、青龍美和子さんに話していただきました。9月30日、寄居町中央公民館にて参加者27名。参加者から率直な感想を寄せていただきました。

子どもたちの未来のために

憲法改正に向けた動きが加速しているのをひしひしと感じながらも、日々の生活にいっぱいいっぱい憲法とは距離がある。今回はパフェに惹かれて参加しました。自民党は防衛費をどんどんUP。その財源は、?というと社会保障費(生活保護や母子加算等)を削減して、だそうです。162億のステルス戦闘機、108億のオスプレイをポンポン購入。戦闘機って防衛?もう軍事費になりつつあるという驚き。オスプレイ3機で保育所285カ所、待機児童2万6千人分になるそうです。水面下ではどんどん戦争に向かっているんじゃないかと恐怖を感じました。世界でも珍しいとされる日本が誇る日本国憲法第9条では・戦争の放棄・戦力の不保持を唱っています。日本はどのような国際的な問題に直面しても、国の方針として「戦争」という選択肢は永久に放棄するので、その「戦争」に必要な軍備は一切持たないと。子どもたちの未来のために、残していきたいと思いました。自民党の改憲条



文イメージでは、9条だけでなく、緊急事態条項、合区の解消、教育の無償化など。教育の無償化、一見すると嬉しい条文に見えますが、そもそも憲法に明記しなくてもできること。無償化の中身は所得制限のあるもので、全員無償化ではないとのこと。完全な焦点隠しだなと思いました。後半はパフェを作って、食べて、グループトーク。初めましての人と憲法について話すのは緊張しましたが、皆さん危機感を感じながらも、

どうしたら良いかわからないと口にし、同じ思いを共有できたことは“私だけじゃないんだ”と勇気をもらうことができました。青龍さんのお話を聞いて、遠い存在になっていた憲法が私たちの生活の基盤になっていることを感じました。

白石



憲法は“宝物”

日本国憲法では、国民1人1人が個人として尊重され、立法その他の国政上で最大の尊重を…と明記されている。そのことの意味を改めて考えさせられた。教育・社会保障費を削ってでも自衛隊の戦力（防衛力か？）を増強したい国は、いざとなれば、私たち1人1人の生活なんぞ見返ることはないだろう。解説を聞き、本当に危ないところまできているのだなと感じた。「国民の尊厳を揺るがし日常や命を奪う戦争は憲法違反だ。」そう言える憲法は、平和を願う国民の“宝物”ではないか！ いかなるときも個人が尊重される社会の持続にはそういう憲法が必要なのだとつくづく思った

講話後には、美味しいパフェを頬張りながら、参加者同士で感想や不安を語り合えたのもよかった。こんな声を聞いた。「日本が武装強化してもそれ以上の戦力国には負ける。一部の企業が儲かるだけで、国民にとって不利益しか思いつかない。」「莫大な軍事費（防衛費か？）を国民のよりよい生活のために注ぐべき。」「志願兵制度は、金持ちだけが免れるような制度になりはしないか。」「現状でも、生活のため自衛隊に入

隊する若者も少なくない。」「自衛隊は軍隊としか思えない。自衛隊の名称に疑問。」「自衛隊は、災害派遣だけして欲しい。」「とにかく、殺し殺される戦争は絶対ダメ！イヤ！」等々。

安倍政権下の不穏な動きに不安を募らせているだけではダメなのだと思います…何も行動していない私…どんなに甘い解釈をしても戦争に至れない憲法は、やっぱり“宝物”！大切にしなきゃ！

Y.S

平和希求を奮い立たせられた憲法カフェ

小学生から、戦後の日本をみてこられたご年配の方まで、幅広い年代の女性たちが集まり、憲法についてのお話を聞き、その後パフェをいただきながら皆で語らう、という時間を過ごせました。

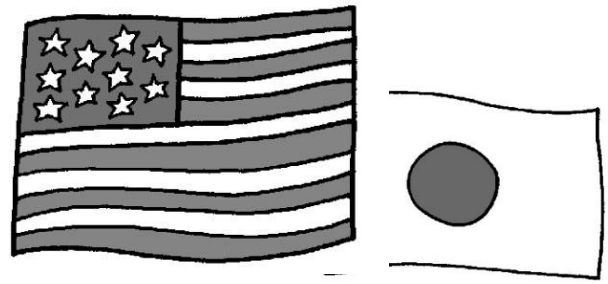
講演してくださったのは「明日の自由を守る若手弁護士会(あすわか)」の青龍美和子先生。初めに紙芝居を読み聞かせるようにして、憲法は国民を縛るものではなく、大臣たちを縛るために国民が作ったものなんだ、ということをお思い出させてくれました。その上で、今変えようと発表されている「憲法改正」の中身、特にその中の9条について、現在の自衛隊の設備や米軍との関係を踏まえながら教えていただきました。

早ければ半年後には憲法が変えられてしまう…。このまま国民投票に至った場合の問題点も、改善の見込みはないまま、これで民意が反映されたと言われてしまうのか…。

忙しさを言い訳に国会の動きなどを見ていなかった私にも、これから何が起きようとしているのかわかるお話でした。そして皆で語らって、漠然とした不安を抱えていたのは私だけではないのだな、と感じることができ、憲法について考える勇気をもらうことができました。今回の限られた時間の中では「憲法改正」の9条以外の条文については軽く触れるに留まりましたが、憲法の、9条を変えてしまう、ということが、それだけ大きな問題なのだと、改めて思いました。

パフェで気持ちを和ませながらも、よくわかっていなかったが故に薄れていた危機感を、自分の平和希求の心を奮い立たせられた憲法カフェ、またの開催を期待します！

Y.M



「改憲4項目」と「国民投票」について

「改憲4項目」とは、

- (1) 9条の改正：自衛隊の明記
- (2) 緊急事態条項の追加
- (3) 教育の無償化
- (4) 参院選合区の解消

それがどうゆう事なのか、私には分かりにくかったのが2つあって、弁護士の伊藤真さんの「時事オピニオン：改憲4項目を斬る！」などによると、

(2)の緊急事態条項

「大地震その他の異常かつ大規模な災害時において、憲法が定めた主権を制限し、政府の権限を一時的に強化する」ことを目的に新しく憲法に追加しようとしている条項。でも東日本、阪神淡路等を経験した被災5県の弁護士会を含む全国22の弁護士会がこれに反対。何故なら今の法律、制度で対応できますし、と。

(4)の参院選合区の解消

「国民の代表」として選ばれた議員には各々、同数の主権者がいるべきである、という考え方に基づく「合区」。これは都道府県にまたがる選挙区のことなのだけれど、これを解消しよう。「一票の格差」の是正に逆行する動き。

「改憲4項目」で本当は何をしたいんだろう。。。怖い怖い。

その怖いのが「国民投票」では、4点セットで、○か×で、とうしますか？って問われるらしい。まさかセット物で来るとは！スゴ過ぎて、最初、信じられなかった・・・

その「国民投票」も、いくつも問題があって、一番スゴいと思ったのは、「有効投票の過半数で成立」する

アメリカさま

現在の自衛隊の「敵国上陸用」「先制攻撃用」などのきらびやかな装備を見るまでもなく、日本国憲法9条は壊れていると私は思います。戦争放棄の新憲法をくれた？GHQが、警察予備隊という自衛隊の前身を作らせたし。日米安保で日本を米軍の出陣基地にしてしまったし。三権分立を超越した日米合同委員会（米軍幹部と日本の高級官僚による）が、この国の政治を動かしているし。

今、トランプさんが、これからは自分のところ（シーレーンも含めて）は自分で守りな、これまで守ってやったツケは払ってもらうぜ。自動車売りたいかったらアメリカで作りな。牛肉豚肉はたっぷり安く買うんだぜ。カジノ作りな、水道売りな、などと言ってきます。イノシシが出没する人界のはしっこで、泥にまみれる我が身としては、ゴボウか、里芋でもささげるしかありません。それとも、特産はちや柿を贈って、トランプタワーで干してもらおうかしら。

とにかく、朝鮮戦争は終わろうとしているし、日本の空は日本に返してもらって、無駄なお金は使わず、東アジアを平和に保ち、国の中で満ち足りる方向に、まつりごとが行われてほしいと思います。

伊藤泰子

ってところ。過去5年の国政選挙の投票率は70, 60, 54, 54%だから、多くて70の半分の35%、少ないと53の半分の約27%。ええ～～もしかして27%の人の〇で、今の私たちや子々孫々の暮らしをもっというなら人生を保障してくれている憲法が変わっちゃうの。立憲主義とか民主主義とか近代国家とかって言葉が頭の中でグルグル回る・・・うーん・・・かなり厳しいらしいけど、まだ、間にあうから頑張る。(KY)



当日会場にてアンケート内に感想を書きいただきました。

- とても大切なことはわかっていますが、よくわからない内容でいつも中途半端にしています。今日はとても分かりやすく勉強になりました。
- あと30分くらい講師のお話が長かったらベターでしたが、十分ポイントは説明いただきうっすらと疑問に思っていたことがやっぱりに変化しました。パフェも最高においしかったです。ありがとうございました。
- いかに今日の話を中心に広めるかが私の使命かな。
- 知ることが大切だと思うけれど皆が知るということは難しいなと思います。知る大切さを子どもに伝えていかないと社会をよくしていけないので、自分にできることからやってみようと思いました。軍事費の大きさを具体的に感じられてこれはおかしなことだと実感がわきました。
- 暮らしを守る、未来を守る、子どもたちを守る…は憲法を守る
- 現在の状況、改憲になったらが分かりやすかった。グループの話の中でもいろんな活動がされていることを知った。これが今の政治を変える大きな流れ

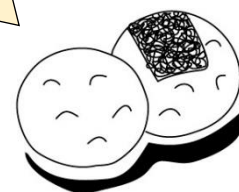
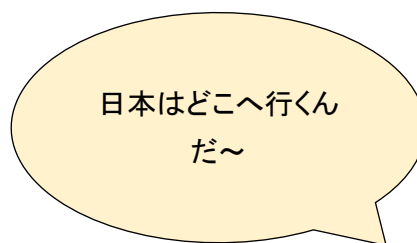
に力になると良い。

- 国民投票の問題点が分かってよかった。憲法9条以外の条文についてもまた時間を取って話を聞きたいと思った。最悪の場合あと半年で憲法変わってしまうなんて危機感を持てた。
- 世界に類を見ない憲法を(特に9条を)守っていきたいという思いを強くしました。
- 9条メインで大変分かりやすかったです。時間を取って「緊急事態条項」のお話もお聞きしたいです。とても不安です。
- 日米合同委員会で色々決められてしまっていること。(が印象に残った)

平和憲法が危ない！

「不思議な国の憲法」の上映会を開催してからわずか2年で、憲法改正の動きがさらに加速してきた。今やまさかではない、改憲への強い流れが押し寄せている。ここに来てやっと、10月30日の朝日新聞に「国民投票CMのありかたは」といった特集が掲載された。記事には「活発な議論」と「公平」どう両立、資金力の差は反対派の数倍もある推進派、ネット時代の対応など課題は山積み。海外のルールの違いなど挙げている。「米国は自由な運動を認める典型で、資金面の規制もテレビの公平原則もなし。企業が自らに有利な案を通すため巨費を投じてCMを出すことも」と紹介している。日本が米国に準じた国民投票へのCMを行うとなると、今や護憲派は推進派のその量にとても勝ち目はない。このまま一気に走らせないための声を上げていきたい。

大北秀子



お城 de カフェ

すごく楽しかったお城でカフェ

ちょっとおしゃれなネーミングですが、寄居町で始まったオレンジカフェ（認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場として、認知症の人と家族を支援する取り組みの一つです）に参加しました。鉢形城歴史館事務所内で毎月1回開催されています。（9月30日参加）

この日はあいにく雨模様でしたが、参加者はスタッフを含め50名以上の賑わい。グループホームからの参加者も。認知症の方とその家族、自由参加とうたっていたので、行ってすくなじめるのかと不安でしたが、今回の企画は真っ白な猫の粘土型の絵付けで、だれでも即参加できる内容でした。皆童心に帰って懸命に絵具と格闘。同じ形の猫たちが実に個性的な猫に変身で大喜び。何よりスタッフの熱意に驚かされました。運営する社協、作業療法士の方々他、一般ボランティアの人も多数。スタートしてまだ2年余りということですが、自分たちも楽しみながら運営している様子が印象的で、それがこのカフェの活気となっているように感じられました。町の足元でこんな素敵なサロンが開催されていることに驚かされました。町内のオレンジカフェの中でも成功例となっているとのこと。参加することで初めて模索しながらの地域の取り組みが実感できました。

機会を作って皆さんもぜひ一度体験してみてください。

大北秀子



参加者の声から

どんな雰囲気なのかな？

どんなことをするのか？

ちょっと不安な気持ちで参加してみました。

100円会費でお茶とお菓子がいただけます。今日は紙粘土の猫の置物の絵付けをしました。久しぶりに絵具を使って真剣に取り組みました。終わりには全員で合唱。当日はとても参加者が多くてにぎわっていました。楽しかったです。

高橋陽子

オレンジカフェに参加させていただきました。わたしたちも工作に参加し、お茶もご馳走になりました。内容も季節により考えているようで（次回は運動会とか）利用されている方たちは、また行ってみようと思いにしているのではないかと思います。普段自宅では行わない工作、歌など体験し、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

N.O



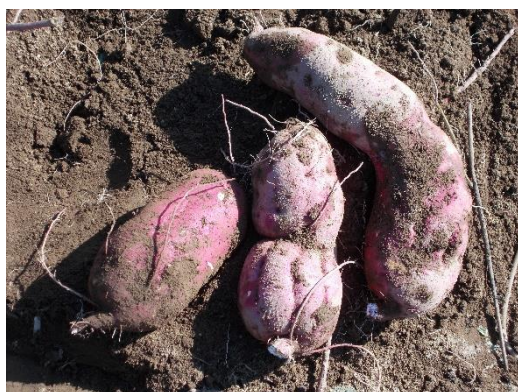
家庭菜園講座

猛暑の夏から秋へと季節は変わりました。菜園講座は毎月元気に開催です。酷暑の影響で作物はいまいちの種類もありますが、大地の恵みは今年も私たちを潤してくれました。



サツマイモの収穫は旺盛な蔓を切ってから

まずは種まき



掘ってみたら、苗の植え方の違いと時期のずれからこんなに成長の差が



お知らせ

ネット会員募集

毎日の暮らしの中で、感じていること、困っていることから出発。一人ではなく皆で話していきましょう。私発が原点です。安心して暮らせる地域を私たちの手で。ぜひ、お仲間になってください。
問合せ：大北（080-5933-7154）

臨時総会のお知らせ

前回配布しました埼玉県市民ネットワーク通信No.56号の中、「2019年統一地方選に向けて」の記事内で「寄居では連携候補予定者がすでに決まっています」といった文面がありますが、ここでの連携とは、当選後の活動を連携といった意味で、選挙戦を連携ではありません。この件に関しては臨時総会にて協議決定する予定です。

家庭菜園講座収穫祭後に行います。
2019年、4月の町議選についてまちネット寄居の対応について話し合います。ぜひご出席ください。

●12月16日(日)

●時間：13時30分～

●会場：寄居町今市地区内の家庭菜園講座の畑地（別チラシに地図）

